

教材

終了

しおりをつけて閉じる

> R07 [4I] 情報科学

R07年度 第03回 演習問題

4409_エックス

期限 2025-04-28 00:00

- 2. ☐ 式を逐次的に評価する
- 3. ☐ 式を文脈から独立して評価する
- 4. ☐ 式の間接結果を保存する

設問 10 表示的意味論において「式」を評価する際、最も重要な要素は何ですか？

- 1. ☐ 式そのものの記述
- 2. ☐ 評価結果の保存
- 3. ☐ 式内の変数と環境の対応
- 4. ☐ 評価における外部ステートの影響

設問 11 表示的意味論における「式の合成」の主な目的は何ですか？

- 1. ☐ 部分式を結合して全体の意味を定義する
- 2. ☐ 部分式をそれぞれ独立して評価する
- 3. ☐ 環境を無視して式を評価する
- 4. ☐ 評価結果を固定する

設問 12 表示的意味論で「式の合成」を実現する際に重要な考慮事項は何ですか？

- 1. ☐ 部分式を無視する
- 2. ☐ 部分式を評価して合成する
- 3. ☐ 意味論的関数を固定する
- 4. ☐ 環境を動的に生成する

設問 13 表示的意味論において「文」を評価する主な目的は何ですか？

- 1. ☐ 文を分割して評価する
- 2. ☐ 文でプログラムの状態を変化させる
- 3. ☐ 文を関数として解釈する
- 4. ☐ 文の中間状態のみを記録する

設問 14 表示的意味論における「文」の評価において最も重要な要素は何ですか？

- 1. ☐ 文を独立して評価する
- 2. ☐ 文の終了時のみ状態を確認する
- 3. ☐ 環境と状態の管理
- 4. ☐ 結果のみを記録する

終了

しおりをつけて閉じる